

- 凡例
- 計画地
 - 工事範囲
 - 注目すべき種確認位置(冬季)

図 6.5-2(4) 注目すべき鳥類の確認位置図 (冬季)

2) 動物（鳥類）の生息環境

調査結果は写真 6.5-1 に示すとおりである。工事前と比較して、ため池内に著しい濁りは確認されなかった。なお、水位については、春季・夏季・冬季は比較的高く、秋季は比較的低いという傾向が確認された。

調査の結果、著しい濁りは確認されず、工事前と同様に四季を通じてため池を利用する水鳥が多数確認されていることから、工事中も著しい環境変化は生じていないと考えられた。





	北側のため池	南側のため池
工 事 前		
	令和2年5月14日撮影	
工 事 中		
	令和3年11月1日撮影（秋季調査時）	
工 事 中		
	令和4年1月28日撮影（冬季調査時）	

写真 6.5-1(1) ため池の状況

	北側のため池	南側のため池
工 事 中		
	令和4年8月4日撮影（夏季調査時）	
工 事 中		
	令和5年5月9日撮影（春季調査時）	

写真 6.5-2(2) ため池の状況

6.5.3. 事業の実施状況及び対象事業の負荷の状況

(1) 調査内容

評価書の事後調査計画を踏まえた調査内容は、以下に示すとおりとした。

・環境保全措置の実施状況

(2) 調査方法

調査方法は、表 6.5-6 に示すとおりである。

表 6.5-6 調査方法（鳥類）

調査項目	調査方法
環境保全措置の実施状況	工事記録の確認及び現地確認により実施した。

(3) 調査地域

調査地域は、表 6.5-7 に示すとおりである。

表 6.5-7 調査地域（鳥類）

調査項目	調査地域
環境保全措置の実施状況	計画地内とした。

(4) 調査時期

調査時期は、表 6.5-8 に示すとおりである。

表 6.5-8 調査時期（鳥類）

調査項目	調査時期
環境保全措置の実施状況	令和3年8月～令和5年6月 (解体工事及び造成工事の工事期間中)

(5) 調査結果

工事中の環境保全措置の実施状況は表 6.5-9 に示すとおりである。

表 6.5-9 動物（鳥類）に係る環境保全措置の実施状況

工事中の環境保全措置	環境保全措置の実施状況
<p>新規入場者教育や作業前ミーティングにおいて、不要なアイドリングストップや空ふかしをしないよう指導・教育を徹底する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工事関係者に対して、入場前教育及び朝礼時に、重機等のアイドリングや無用な空ふかし、過積載や急加速等の高負荷運転防止に努めるよう指導・教育を徹底した。  <p>(令和3年10月25日撮影)</p>
<p>使用する重機は可能な限り最新の排出ガス対策型を採用するとともに、低騒音・低振動型の採用に努め可能な範囲で省エネモードでの作業に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工事に際して可能な限り排出ガス対策型、低騒音型、低振動型の重機を採用し、排出ガスの抑制及び騒音・振動負荷の削減に努めた。   <p>(令和3年10月30日撮影) (令和3年10月30日撮影)</p>

6.5.4. 調査結果の検討

(1) 工事による影響

1) 予測結果との比較

評価書に記載した工事による鳥類への影響予測結果は、表 6.5-10 に示すとおりである。また、確認された注目すべき種について、工事前と工事中の変化の状況は表 6.5-11 に示すとおりである。

注目すべき種の季節別の確認状況は、春季は工事前 8 種に対し工事中 9 種、夏季は工事前及び工事中ともに 7 種、秋季は工事前 12 種に対し工事中 11 種、冬季は工事前 7 種に対し工事中 9 種が確認され、その種の構成に大きな変化はない。なお、バンとオオヨシキリは工事前のみ確認されているが、バンは秋季に 1 個体、オオヨシキリは春季と夏季にそれぞれ 1 個体と確認数が少なく、鶴ヶ谷中央公園内のため池は、これらの種が繁殖に利用するヨシ等の比較的水深の浅い水際植生が限られているため、工事前の調査では、渡り途中の個体が偶発的に確認されたものとする。

予測において生息環境が減少すると見込まれたモズ、ツバメ、アオジについては、工事に伴い計画地内に存在していた草地等の生息環境の一部が消失したものの、工事中の事後調査において、隣接する鶴ヶ谷中央公園を中心とした計画地周辺で生息が確認された。

また、工事中にため池の著しい濁りは確認されておらず、工事前と同様に四季を通じてため池を利用する水鳥が多数確認されている。さらに、工事前に生息が確認されていたカワセミについて、夏季調査時に、北側のため池に接続する水路において餌運びが確認され、また、ため池内で複数の確認もあったことから、北側のため池周辺の斜面もしくは接続水路沿いで工事中も繁殖していた可能性が考えられる。

以上のことから、鶴ヶ谷中央公園を含んだ計画地周辺における鳥類の生息環境は維持されているものとする。

表 6.5-10 評価書に記載した予測結果

予測結果	整合を図るべき基準等
重機の稼働に伴う動物（鳥類）の影響を予測した結果、逃避により動物相は変化し、計画地内で出現のあったモズ、ツバメ、アオジの生息環境が減少すると見込まれた。ただし、いずれの種も鶴ヶ谷中央公園でも生息が確認されており、周辺の生息環境は維持されるため、重機の稼働による影響は小さいと予測された。	杜の都環境プラン（仙台市環境基本計画）2011-2020（平成28年3月改定）における「実施段階以降（工事を実施する段階及びその後の事業の運営を行う段階）」との整合性

表 6.5-11 注目すべき種の確認状況の変化（工事前と工事中の比較）

No.	科名	種名	確認時期								選定基準 ^{※2}								
			工事前				工事中				I	II	III	IV	V				
			R1年度		R2年度		R3年度		R4年度						R5年度		学術上	減少種	指標種
			夏季	秋季	冬季	春季	秋季	冬季	夏季	春季									
1	カイツブリ	カイツブリ	●	●	●		●	●	●	●						B	○		
2	クイナ	バン		●											1, 4	B	○		
3	ミサゴ	ミサゴ			●			●	●	●			NT		1, 4		○		
4	タカ	オオタカ				●		●					NT	NT	1, 4	B	○		
5		ノスリ		●		●		●									○		
6	カワセミ	カワセミ	●	●		●	●	●	●	●					1, 4	C	○		
7	キツツキ	アカゲラ		●	●		●	●								B			
8		アオゲラ		●	●		●	●	●	●						B	○		
9	ハヤブサ	チョウゲンボウ						●							1, 4	B			
10	モズ	モズ	●	●			●								1	B	○		
11	ツバメ	ツバメ	●			●			●	●						C	○		
12	ウグイス	ウグイス	●	●	●	●	●	●	●	●					1, 4	C	○		
13	ムシクイ	センダイムシクイ				●				●						B	○		
14	ヨシキリ	オオヨシキリ	●			●									1, 4	B	○		
15	ヒタキ	シロハラ		●			●	●								B	○		
16		キビタキ								●						B	○		
17	セキレイ	キセキレイ	●	●			●								1, 4	C	○		
18		セグロセキレイ		●			●		●						4	C	○		
19	ホオジロ	ホオジロ			●		●	●								B	○		
20		アオジ		●	●	●	●	●	●	●						C			
計	15科	20種	7種	12種	7種	8種	11種	9種	7種	9種	0種	0種	2種	1種	10種	18種	17種		

※1 科名、種名及び配列は、「日本鳥類目録改訂第7版」（平成24年、日本鳥学会）に準拠した。

※2 注目すべき種のカテゴリー区分は以下のとおりである。

- I 「文化財保護法」（昭和25年、法律第215号）
- II 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年、法律第75号）
- III 「環境省レッドリスト2020の公表について」（令和2年3月27日、環境省報道発表資料）
NT：準絶滅危惧（現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種）
- IV 「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト2021年版-の公表について」（令和4年3月、宮城県）
NT：準絶滅危惧（現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種）
- V 「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査報告書」（令和4年3月、仙台市）における保全上重要な種

学術上：学術上重要な種

- (1：仙台市においてもともと稀産あるいは希少である種。あるいは分布が限定されている種)
- (2：仙台市周辺地域が分布の北限、南限等の分布限界となる種)
- (3：仙台市が模式産地（タイプロカリティ）となっている種)
- (4：1, 2, 3に該当しないが、各分類群において、注目に値すると考えられる種)

減少種：市街地地域における減少種

- (A：現在、ほとんど見ることができない、あるいは近い将来ほとんど見ることができなくなるおそれがある種)
- (B：減少が著しい、あるいは近い将来著しい減少のおそれがある種)
- (C：減少している、あるいは存続基盤が脆弱で、生息・生育条件の変化によっては上位ランクに移行する要素を有する種)

指標種：環境指標種（仙台市の各環境分類における環境を指標する種）

2) 検討結果

事後調査の結果から、鶴ヶ谷中央公園を含んだ計画地周辺における鳥類の生息環境は維持されており、工事による鳥類への影響は小さいと考える。

また、評価書において整合を図るべき基準等とした「仙台市環境基本計画 杜の都環境プラン 2011-2020（平成28年3月改定）」の実施段階以降（工事を実施する段階及びその後の事業の運営を行う段階）において、動物に係る項目は「工事用車両・機器等のアイドリングストップや適切な維持管理により騒音の発生防止に努めるとともに、汚染物質の排出をできるだけ低減する。」、「緑地等の適切な維持管理を行う。」と示されているが、これに対し、工事中の環境保全措置として工事従事者への環境教育の徹底、環境対策型の重機（排出ガス対策型、低騒音型、低振動型）の積極的採用を行い、影響を抑制している。

今後も工事を継続することから、計画地周辺に生息する鳥類への影響を抑制するため、引き続き環境保全措置を適切に講じながら工事を実施していく。

6. 6. 自然との触れ合いの場

6. 6. 1. 環境の状況

(1) 調査内容

調査内容は、表 6. 6-1 に示すとおりである。

表 6. 6-1 調査内容（自然との触れ合いの場）

調査内容		
自然との触れ合いの場	資材等の運搬	自然との触れ合いの場
		工事用車両（台数・走行経路）
	重機の稼働	自然との触れ合いの場
		重機の稼働台数
環境保全措置の実施状況		

(2) 調査方法

調査方法は、表 6. 6-2 に示すとおりである。

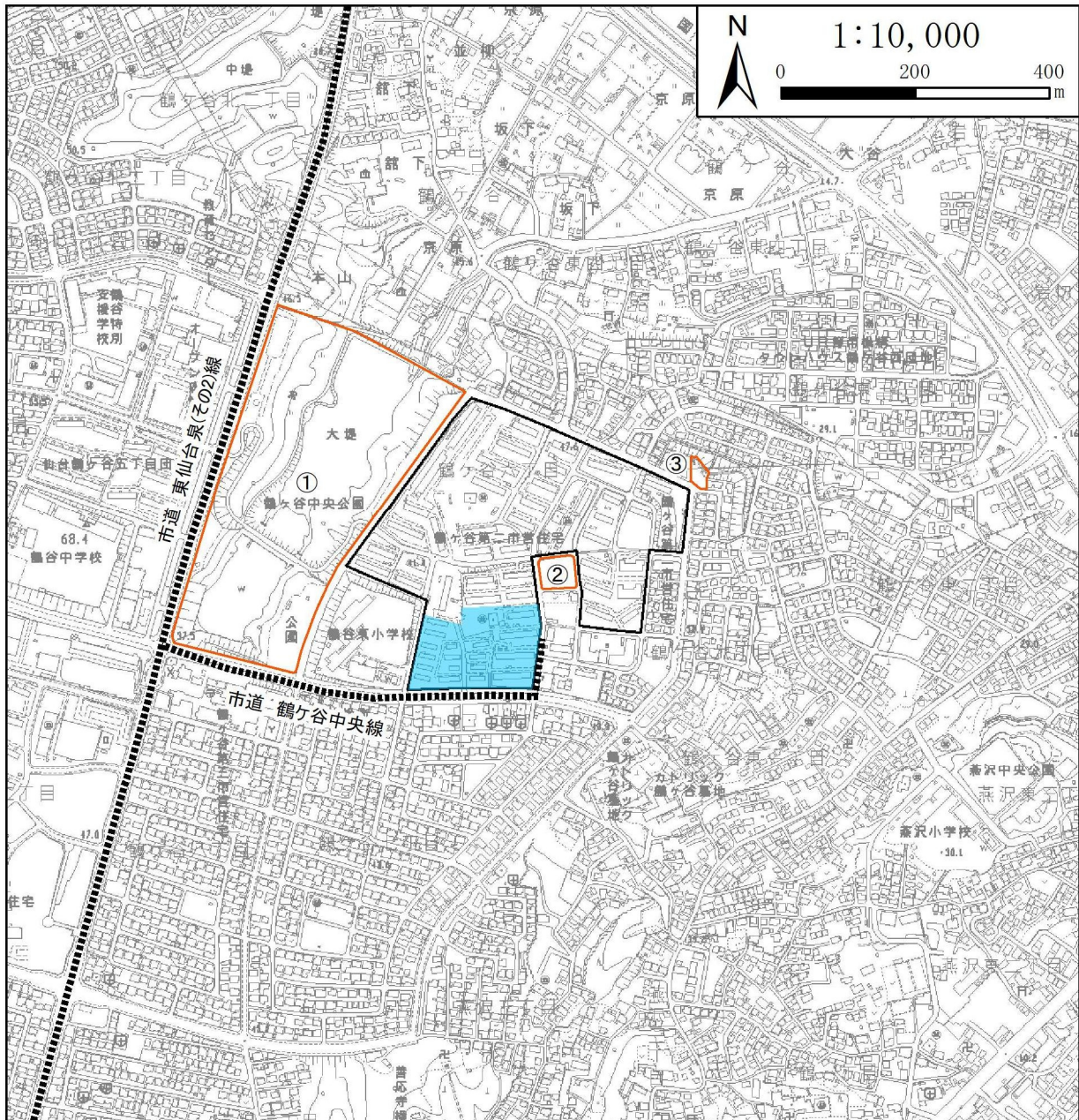
表 6. 6-2 調査方法（自然との触れ合いの場）

調査項目	調査方法
・自然との触れ合いの場	現地踏査により調査地点における利用者数、利用者の属性、利用内容、利用範囲または場所、利用の多い場所等を把握した。
・工事用車両 （台数・走行経路）	工事記録の確認及び現地確認により実施した。
・重機の稼働台数	工事記録の確認及び現地確認により実施した。

(3) 調査地点

調査地点は、図 6. 6-1 に示すとおりである。

計画地周辺の自然との触れ合いの場として、評価書で予測対象とした3つの施設（No. 1 鶴ヶ谷中央公園、No. 2 鶴ヶ谷六丁目公園、No. 3 鶴ヶ谷東二丁目公園）とした。



- 凡例
- 計画地
 - 工事範囲
 - 工事用車両走行ルート
 - 調査地点
- ① 鶴ヶ谷中央公園
 ② 鶴ヶ谷六丁目公園
 ③ 鶴ヶ谷東二丁目公園

図 6.6-1 調査地点（自然との触れ合いの場）

1) 調査対象施設の状況（鶴ヶ谷中央公園）

鶴ヶ谷中央公園は、2つのため池を中心に整備された地区公園である。公園の北西部と南東部には遊具等の施設が集まったエリアがあり、両エリアはため池の間を通る園路で繋がっている。

仙台オープン病院に隣接した北西エリアには、水飲み場、遊具や健康器具のほか、砂場、ベンチ等が整備されている。北西エリアの中央部には小規模な樹林があり、藤棚が整備されているなど、緑の多い空間となっている。鶴谷東小学校に隣接した南東エリアには、遊具や健康器具、水飲み場、ベンチ、トイレ等が整備されているほか、ボール遊び等ができる広場がある。公園の中央西部には、トイレやベンチが整備された小規模の広場がある。北東エリアには平坦なスペースがあり、その一部に駐車場と園路が整備されている。

公園内には様々な樹木が植栽されており、鳥類のほかセミやトンボ等の昆虫類の生息の場として機能している。溜池には、冬が近づくとハクチョウやカモ類といった水鳥が越冬のために飛来するほか、鶴谷東小学校等により植えられたイトザクラやネムノキ等が見られるなど、触れ合いの場を構成する主要な要素が集まっている。

なお、評価書時点で工事が行われていた北東部分については、新たに駐車場、休憩所、通路及びオープンスペースが整備されている。

	
<p>①記念碑（さくら 100 本）</p>	<p>②トイレ</p>
	
<p>③水飲み場</p>	<p>④遊具（すべり台：ワイド）</p>
	
<p>⑤遊具（ブランコ）</p>	<p>⑥遊具（鉄棒）</p>

写真 6.6-1(1) 施設の状況（鶴ヶ谷中央公園）

	
<p>⑦遊具（雲梯）</p>	<p>⑧遊具（健康器具）</p>
	
<p>⑧遊具（その他：吊り輪等）</p>	<p>⑨砂場</p>
	
<p>ベンチ</p>	<p>藤棚</p>
	
<p>休憩所（北東部の新設施設）</p>	<p>オープンスペース（北東部の新設施設）</p>

写真 6.6-1(2) 施設の状況（鶴ヶ谷中央公園）